

議会だより第50号

平成30年 第1回定例会

平成30年第1回定例会が2月27日から3月16日までの18日間の会期で開催されました。
 この定例会では、市長から提出された平成30年度いすみ市一般会計予算ほか20議案及び人権擁護委員候補者2名の推薦が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。
 また、議会に寄せられた請願1件については採択し、千葉県への意見書が可決され、送付しました。

○平成30年度いすみ市一般会計予算及び各特別会計予算を可決

一般会計予算 161億9400万円
 国民健康保険特別会計予算 56億699万5千円
 介護保険特別会計予算 44億5672万4千円
 後期高齢者医療特別会計予算 5億4070万6千円
 水道事業会計予算支出総額 22億3260万9千円

○人権擁護委員候補者に大久保千恵子氏、芝崎久男氏を推薦することに全会一致で同意しました。

平成30年第1回定例会の議決結果

議案番号	件名	採決結果	議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市学校施設財産処分積立基金条例の制定について	可決	議案第14号	平成29年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第2号	いすみ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第15号	平成29年度いすみ市水道事業会計補正予算(第5号)	可決
議案第3号	いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決	議案第16号	平成30年度いすみ市一般会計予算	可決
議案第4号	いすみ市保育所施設整備基金条例の一部改正について	可決	議案第17号	平成30年度いすみ市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第5号	いすみ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第18号	平成30年度いすみ市介護保険特別会計予算	可決
議案第6号	いすみ市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決	議案第19号	平成30年度いすみ市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第7号	いすみ市国民健康保険条例の一部改正について	可決	議案第20号	平成30年度いすみ市水道事業会計予算	可決
議案第8号	いすみ市介護保険条例の一部改正について	可決	議案第21号	いすみ市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正について	可決
議案第9号	いすみ市産業振興及び雇用の促進に関する条例の一部改正について	可決	請願第1号	精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とする意見書の千葉県への提出を求める請願	採択
議案第10号	土地区画整理事業(北寄瀬地区)に伴う字の区域及び名称の変更について	可決	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(大久保千恵子氏)	同意
議案第11号	平成29年度いすみ市一般会計補正予算(第8号)	可決	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(芝崎久男氏)	同意
議案第12号	平成29年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	発議第1号	議場に国旗及び市旗を掲揚する決議について	可決
議案第13号	平成29年度いすみ市介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決	発議第2号	精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とする意見書について	可決



平成30年第1回臨時会が1月18日に開催され、9議案について審議し、採決の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。

このほか、選挙管理委員等の選挙が、指名推選により行われました。

平成30年第1回臨時会の議決結果

議案番号	件名	採決結果	議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	議案第7号	財産の処分の変更について	可決
議案第2号	いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第8号	いすみ市教育委員会委員の任命について（奥地道雄氏）	同意
議案第3号	いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例及びいすみ市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について	可決	議案第9号	いすみ市監査委員の選任について（元吉善万氏）	同意
議案第4号	平成29年度いすみ市一般会計補正予算（第7号）	可決	選挙第1号	夷隅環境衛生組合議会議員の選挙（山口朋子氏）	指名推選
議案第5号	平成29年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	選挙第2号	いすみ市選挙管理委員の選挙（丸津音夫氏）（渡邊一司氏）（菰田光哉氏）（佐久間廣幸氏）	指名推選
議案第6号	平成29年度いすみ市水道事業会計補正予算（第4号）	可決	選挙第3号	いすみ市選挙管理委員補充員の選挙（中村敏一氏）（麻生 弥氏）（冬木庄吉氏）（小高美一氏）	指名推選

Q&A 一般質問 市政をきく

第1回定例会の一般質問は、3月1日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

（第1回定例会の会議録は6月上旬に公開を予定しています。）

岩井豊重 議員	平成30年度当初予算／市職員等の労働時間などの現状
高森和久 議員	県道太東停車場線の通学路の安全確保と幅員の拡幅の見通し／災害時の危機管理マニュアル／「子ども食堂」の推進／県道夷隅太東線の拡幅事業の進捗状況と今後の見通し
押尾武志 議員	「美食の街いすみ～サンセバスチャン化計画～」
久我 司 議員	少子化対策に伴う婚活事業／青少年のインターネットリテラシー教育／ネットいじめ対策
荒井 正 議員	医療の充実／JRの利便性向上／県立大原高校への支援／農業の振興
山口朋子 議員	高齢者の運転免許証自主返納に対する支援体制／持続可能な開発目標の推進／小・中学校における救命処置の普及推進
田井秀明 議員	市役所職場内でのハラスメント防止／ふるさと住民票／インフルエンザ予防接種



平成30年度当初予算
岩井豊重 議員

答
どれも実施していか
なければならぬと考
える

岩井議員 広報いすみ1月号
のなかで平成30年度当初予
算編成について14項目の検
討施策が述べられており、
その多くは市民の願いと一
致するものだが、これだけ
はどうしても実現したいと
いう施策について伺いたい
市長 広報に載せた14項目に
ついては、どれも実施して
いかなければならないと考
えたものを掲載しました。
どれも一つでも欠ければ「幸
せ・安心・笑顔あふれるい
すみ市」の実現はできない
と思います。

特に重点的に取り組む事
項としては、いすみ市まち・
ひと・しごと創生総合戦略
の四つの基本目標です。雇
用の創出、地域所得の向上
人口減対策、地域の魅力の
向上の達成のため、平成30
年度はさらに地方創生の施
策を加速的に進めていくこ
とのなかで、美食の街いす
みづくりを中心に、夷隅地域
大原地域、岬地域の3地域
の魅力を生かしての地域づ
くりを進めたいと思ってい
ます。
なお、喫緊の課題である
医療問題、福祉、介護、地
震・津波対策、鳥獣対策、

そして加えまして、JR外
房線の利便性の確保などに
積極的に取り組んでいきたく
いと思っております。

県道太東停車場線の
通学路の安全確保と
幅員の拡幅の見直し
高森和久 議員

答
基礎資料を作成する
ことを目的とした予備
設計を実施中である。
今後の見通しは、地権
者の同意を得ながら、
事業化に向け進めて
いく

高森議員 平成26年9月議会
において、県道太東停車場
線の通学路の安全確保と幅
員の拡幅の見直しについて
質問したが、その後の夷隅
土木事務所との協議の進捗
状況と今後の見直しにつ
いて伺いたい。

建設課長 現在の進捗状況で
すが、平成29年度から測量
及び設計委託業務などの委
託費が予算化され、事業の
着手となったところです。
施工予定区間の浅善鉄工
所から国道128号太東灯
台入口交差点間まで全体計
画延長は約600メートルで、
車道2車線片側歩道にて整
備する計画となっております。
現在の業務内容は地形測量
が実施され、その測量資料
に基づき平面線形及び縦断

線形の比較検討(案)を作
成し検討しています。
現時点における最も適し
た線形(案)を選定すると
ともに、道路幅員の基本寸
法を決定し、今後の課題な
どの抽出を行い、事業化に
向けた基礎資料を作成する
ことを目的とした予備設計
を実施中であるということです。
今後の見直しについては、
予備設計終了後に、説明会
を開催し、地権者の同意を
得ながら、道路詳細設計、
用地測量などを行い、さら
に事業化に向け進めていき
たいとのことでありました。
市としても夷隅土木事務
所と連携し、説明会などで
地元区長さんたちとできる
限り協力していきたいと考
えています。

「美食の街いすみ」
サンセバスチャン化
計画」
押尾武志 議員

答
新たに稼ぐ力を引き
出すとともに、地域へ
の愛着を醸成する食の
街づくりを展開する

押尾議員 今後の具体的なス
ケジュールはどのように考
えているか伺いたい。
市長 3年目に当たる平成30
年度は、昨年度、今年度と
実施しましたレストラン、
オーベルジュ等の誘致実証
事業をさらに発展させ、ベ

ンチャー企業への活用による
新規就農者の確保、農業生産
技術習得、農業知識等を学
ぶ農の学校を開催し、新た
な農法として土着菌の活用
による有機農産物の生産促
進や漁師自らが活け締め技
術の導入による鮮度保持技
術を取得するなど、付加価
値をつけた農水産品の生産
を拡大し、これらを都市部
の有名料理店、レストラン
等への供給、また市内での
地産地消の推進を同時に図
り、新規飲食店の出店や既存飲
食店でのいすみブランド産
品等、地域の食材を活用し
た料理メニューの開発など、
食を通じて生産者の生産意
欲や所得の向上による後継
者育成等、産業界との連携を
促進することで、新たに稼
ぐ力を引き出すとともに、
地域への愛着を醸成する食
の街づくりを展開してい
きます。

また、この事業活動につ
いて、市の広報紙やホーム
ページ、マスメディア、市
職員、地域おこし協力隊な
どを積極的に活用し、市民
の皆様幅広くわかりやすく
お伝えするとともに、食の
学校を開催し、料理に関す
るセミナー等を定期的に開
催するなど、食に対する意
識の醸成や地域の食材を使
つての料理方法など、いす
みならではの料理が提供、
発信できるようにしたいと
思います。

少子化対策に伴う
婚活事業
久我 司 議員

答
全国の招致の取り組
み状況を調査・研究し、
招致の検討をする

久我議員 メディアを活用し
た婚活事業は総合的に大き
な効果を生むと考えられるが
市の考えを伺いたい。
市長 メディアを活用した婚
活は、真剣に結婚を望む方
の出会いの場や意識啓発に
つながり、広く全国から多
くの参加者を募集することで
カップルの成立も多いと
われています。
一方、番組の招致は、市
の豊かな自然や特産品など
を全国にPRし、市の情報
発信の機会となるなどの効
果が期待されます。
こうしたことから、メデ
ィアを活用した婚活事業には、
市の少子化対策の側面と市
の活性化という側面の両面
がありますので、関係部署
との調整や全国の招致の取
り組み状況を調査・研究し、
招致の検討をしていきたい
と考えています。

また、この事業活動につ
いて、市の広報紙やホーム
ページ、マスメディア、市
職員、地域おこし協力隊な
どを積極的に活用し、市民
の皆様幅広くわかりやすく
お伝えするとともに、食の
学校を開催し、料理に関す
るセミナー等を定期的に開
催するなど、食に対する意
識の醸成や地域の食材を使
つての料理方法など、いす
みならではの料理が提供、
発信できるようにしたいと
思います。





医療の充実
荒井 正議員

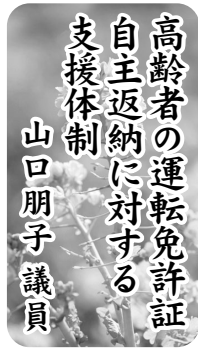
答
全力で医師、看護師の確保に努める

荒井議員 いすみ医療センターの現在の経営状況をどう捉えているか伺いたい。
市長 医師派遣を千葉大学に依存しているいすみ医療センターは、東千葉メディカルセンター及び成田国際医療福祉大学の開設により、派遣が大幅に縮小され、看護師についても退職者の増加に対する新規採用者の見込がたえず、厳しい経営になっていきます。
決算状況を見てみると、平成28年度は1億6900万円、平成29年度は2億2000万円の純損失を見込んでいる状況であり、毎年欠損金が出ている状況にあります。一方、資金としての現金保有高は9億5000万円あり、当面資金ショートを起こすことはないと考えています。
しかし、いすみ医療センターの安定的運営を期すため亀田総合病院と関係を築いてきましたが、このたびの医療圏の問題から、今年度中に亀田総合病院が派遣している医師4名、理学療法士2名が打ち切られることなど、専門職の不足で4階病棟を休止している厳しい経営状況下において、経

営の立て直しは急務であります。
立て直しのためには、医師確保が最優先ですので、千葉大学や東邦大学、東京女子医科大学に医師の派遣を依頼しています。

また、千葉大学といすみ医療センターとの間で寄附講座という制度を設け、大学、医療センター、自治体、住民が連携して地域の健康づくり事業を進めつつ、地域医療を理解できる医師を育てる仕組みをつくり、医師の確保をしていきたいと思

います。
夷隅地域は高齢化が進むなか、どうしても必要な病院です。全力で医師、看護師の確保に努め、早期に救急医療をはじめ、地域の医療の役割を果たせるようにしたいと思っております。皆様にご理解いただき、今後も支援していきたくと考えています。



高齢者の運転免許証
自主返納に対する
支援体制
山口朋子議員

答
支援制度の周知、拡充を含め、対策を検討する

山口議員 高齢者の運転免許証自主返納を促進するため支援制度を導入する考えはあるか伺いたい。
市長 いすみ警察署管内で、

高齢を理由に運転免許証を自主返納した方は、平成26年から平成30年1月末現在で641名となっております。

高齢者の交通事故対策として、いすみ警察署では過去1年以内に事故、違反していない方で、免許証を返納した方に卒業証書を交付しています。今後は、卒業証書の交付に加え、外出の安全を図るため、反射材をお渡しすることを検討しています。

一方、市では、自主的に運転免許証を返納した75歳以上の方にタクシール料金の一部を助成する福祉タクシール事業を実施しています。これは、タクシール利用1回につき、1300円を助成する福祉タクシール利用券を一人につき年間24枚交付するものです。

また、運転免許証を返納した65歳以上の方の市営バス乗車運賃を半額にしています。このほか、75歳以上の方に申請により、市営バス無料パスポートを交付しているところ です。

このように交通支援により運転に不安を感じた高齢者が、自主的に運転免許証を返納するきっかけとなることを期待しています。

今後、高齢者が関係する悲惨な交通事故を減らすため警察とも連携し、さらに免許証の自主返納が進むよう、支援制度の周知、拡充を含め対策を検討していきたくと考えています。



市役所職場内での
ハラスメント防止
田井秀明議員

答
管理職を対象とした
研修の実施を検討する

田井議員 ハラスメント防止を図る観点から、規則やガイドラインを設ける考えはあるか伺いたい。
総務課長 ハラスメント防止

のための対策としては、ハラスメントに関する中堅職員向けの研修への参加や、毎月1回、職員からの健康相談を産業医により実施しています。医師からは、職員からのハラスメントによる健康被害相談などの報告は受けていませんが、方が一

職場においてハラスメント事案が起きた場合には、プライバシーの保護や不利益な取り扱いをすることなく被害者の人権に配慮し、新たにハラスメントによる精神的な相談の場を設けるなど、早期対応に努めていきたいと考えています。

また、職員一人一人がハラスメントに対する問題について自覚し、人権を尊重し対処することが重要であることから、啓発活動にあわせ、管理職を対象とした研修の実施を検討します。

市政を知るために
議会を傍聴しませんか

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は、誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受付をお願いいたします。
なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

第2回定例会日程(予定)

6月5日(火)10時	開会
7日(木)10時	議案の上程
12日(火)10時	一般質問
13日(水)9時	議案質疑
14日(木)9時	委員会
22日(金)10時	委員長報告
	議案審議
	閉会

編集 議会だより編集委員会
TEL 0470-6211406
ホームページアドレス
<http://www.city.isumi.lg.jp/>
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp

